

2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長 (氏名) 宇佐美 昌和
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	206,938	2.5	17,186	33.9	17,568	32.2	9,268	11.7
2020年3月期第3四半期	212,172	0.7	12,836	14.5	13,290	13.8	8,300	7.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 11,083百万円 (73.0%) 2020年3月期第3四半期 6,406百万円 (5.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	46.88	
2020年3月期第3四半期	41.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	306,726	188,059	50.0
2020年3月期	283,882	181,329	52.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 153,303百万円 2020年3月期 147,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				20.00	20.00
2021年3月期				20.00	20.00
2021年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	277,000	1.5	19,200	21.2	19,300	18.6	9,700	8.0	49.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	199,699,743 株	2020年3月期	199,699,743 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,995,450 株	2020年3月期	1,995,163 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	197,704,523 株	2020年3月期3Q	199,495,658 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、修正した連結業績予想の詳細につきましては、「決算短信補足資料」PAGE8/13～11/13に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

○第3四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、依然として厳しい状況となりました。海外においても、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に加え米中貿易摩擦の長期化、ブレグジット等の影響により、景気動向の見通しは不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染予防、拡大防止を最優先しつつ、2020年5月に公表した長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100th」の実行計画の第1ステップとしての「宝グループ中期経営計画2022」に取り組んでまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、環境変化に柔軟に対応し、強化すべき領域へ適切な経営資源の配分と投下を行い、収益力を高める多様な「価値」を生み出し続ける事業構造とグローバルなコーポレート機能の再構築を推し進めることで、国内外での持続的な成長の実現とグループの企業価値向上に向けて足元を固めることに注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高206,938百万円（前年同期比97.5%）、売上総利益86,199百万円（前年同期比105.1%）、営業利益17,186百万円（前年同期比133.9%）、経常利益17,568百万円（前年同期比132.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益9,268百万円（前年同期比111.7%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝酒造]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、料飲店等の外食需要の低迷と、いわゆる巣ごもり需要によりカテゴリー間で大きなばらつきがありました。酒類では、ソフトアルコール飲料が引き続き好調に推移いたしましたが、清酒が大きく減少いたしました。また、調味料も減少し、消毒液としての需要があった原料用アルコール等は増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、119,757百万円（前年同期比100.7%）となりました。売上原価は、72,111百万円（前年同期比100.7%）となり、売上総利益は、47,646百万円（前年同期比100.7%）となりました。販売費及び一般管理費は、販売促進費などが減少し、41,501百万円（前年同期比98.0%）となり、営業利益は、6,145百万円（前年同期比123.3%）となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、海外酒類事業、海外日本食材卸事業ともに、世界各地でのロックダウン等により、主要な顧客である飲食店を中心に需要が減少するなど大きな影響を受けました。海外酒類事業では、ウイスキーは好調でしたが、清酒などが減少いたしました。海外日本食材卸事業では、小売店向けの販売強化、ホームデリバリーやテイクアウト需要への取り組みを進めましたが、主力の飲食店向けへの売上の減少を補えず、減収となりました。

以上の結果、宝酒造インターナショナルグループの売上高は、49,768百万円（前年同期比82.3%）となりました。売上原価は、34,877百万円（前年同期比80.7%）となり、売上総利益は、14,891百万円（前年同期比86.2%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などが減少し、14,253百万円（前年同期比95.3%）となり、営業利益は、637百万円（前年同期比27.6%）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、遺伝子医療が前年同期比で減少したものの、研究用試薬および受託サービスが前年同期比で増加いたしました。加えて、2020年11月に発売した新型コロナウイルス体外診断用医薬品等のPCR検査関連製品が増加いたしました。

以上の結果、タカラバイオグループの売上高は、29,549百万円（前年同期比120.3%）となりました。売上原価は、売上構成の変化や生産稼働率の向上等により原価率が低下し、8,297百万円（前年同期比85.0%）となり、売上総利益は、21,251百万円（前年同期比143.7%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等が増加し、12,460百万円（前年同期比114.2%）となり、営業利益は、8,791百万円（前年同期比226.6%）となりました。

[その他]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けたことなどにより、22,689百万円（前年同期比92.1%）となりました。売上原価は、19,744百万円（前年同期比92.3%）となり、売上総利益は、2,944百万円（前年同期比90.6%）となりました。販売費及び一般管理費は、管理費などが減少し、1,423百万円（前年同期比92.8%）となり、営業利益は、1,520百万円（前年同期比88.6%）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年 同期比
品種	金額 (百万円)	金額 (百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	38,026	38,188	100.4
清酒	16,860	14,362	85.2
ソフトアルコール飲料	32,712	36,356	111.1
その他酒類	4,861	4,330	89.1
酒類計	92,460	93,237	100.8
本みりん	11,238	10,706	95.3
その他調味料	8,222	8,232	100.1
調味料計	19,461	18,938	97.3
原料用アルコール等	6,975	7,581	108.7
計	118,897	119,757	100.7
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	8,010	7,279	90.9
海外日本食材卸	53,881	43,344	80.4
その他	190	45	23.7
グループ内連結消去	△1,622	△899	—
計	60,461	49,768	82.3
タカラバイオグループ	24,558	29,549	120.3
報告セグメント計	203,917	199,075	97.6
その他	24,644	22,689	92.1
セグメント計	228,562	221,764	97.0
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△16,389	△14,826	—
合計	212,172	206,938	97.5

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は185,998百万円となり、前連結会計年度末に比べ17,178百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が13,224百万円増加したこと、手元流動性を高めるため有価証券を現金化したこともあり現金及び預金が11,122百万円増加したこと、有価証券が6,346百万円減少したことによるものであります。

固定資産は120,727百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,665百万円増加いたしました。これは主に、Takara Bio USA, Inc.の新事業用土地・建物を取得したことなどにより有形固定資産が4,791百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は306,726百万円となり、前連結会計年度末に比べ22,844百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は60,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,323百万円増加いたしました。これは主に、流動負債のその他が4,785百万円増加したこと、当第3四半期連結会計期間末が休日であることなどにより未払酒税が4,033百万円増加したこと、1年内償還予定の社債が5,000百万円減少したことによるものであります。

固定負債は57,876百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,789百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が10,045百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は118,666百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,113百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は188,059百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,730百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が5,314百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.0% (前連結会計年度末は52.1%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績および直近の状況を踏まえ、2020年11月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。

連結売上高は、タカラバイオグループおよび宝酒造インターナショナルグループが前回発表予想を上回る見込みであり、宝酒造は前回発表予想をやや下回るものの、グループ全体では前回発表予想を3,000百万円(1.1%)上回る見通しです。

利益面では、売上高の増加や売上原価率の低下による売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費の抑制に努めることで、営業利益は5,400百万円(39.1%)、経常利益は5,300百万円(37.9%)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,600百万円(36.6%)、それぞれ前回発表予想を上回り、営業利益、経常利益は過去最高となる見通しです。

業績予想の修正に関する詳細は、本日(2021年2月10日)公表いたしました「2021年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。また、各事業セグメントの予想値の詳細につきましては、「決算短信補足資料」(PAGE 8/13~11/13)をご参照ください。

(2021年3月期 通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2020年11月10日発表)	百万円 274,000	百万円 13,800	百万円 14,000	百万円 7,100	円 銭 35.91
今回修正予想(B)	277,000	19,200	19,300	9,700	49.06
増減額(B-A)	3,000	5,400	5,300	2,600	—
増減率(%)	1.1	39.1	37.9	36.6	—
ご参考: 前期実績 (2020年3月期)	281,191	15,836	16,269	8,980	45.11

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,265	58,387
受取手形及び売掛金	61,017	74,242
有価証券	7,352	1,006
商品及び製品	42,295	39,977
仕掛品	1,801	2,131
原材料及び貯蔵品	4,879	6,085
その他	4,515	4,705
貸倒引当金	△307	△538
流動資産合計	168,820	185,998
固定資産		
有形固定資産	69,835	74,627
無形固定資産		
のれん	11,750	10,853
その他	6,950	5,860
無形固定資産合計	18,700	16,713
投資その他の資産		
投資有価証券	21,720	24,699
その他	4,873	4,755
貸倒引当金	△69	△69
投資その他の資産合計	26,525	29,386
固定資産合計	115,061	120,727
資産合計	283,882	306,726
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,440	16,770
短期借入金	4,787	5,253
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払酒税	7,690	11,723
未払費用	5,511	6,022
未払法人税等	1,886	3,149
引当金	5,224	4,159
その他	8,926	13,711
流動負債合計	55,466	60,790
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	5,448	15,493
リース債務	3,538	3,091
退職給付に係る負債	9,065	9,180
長期預り金	5,363	5,199
その他	3,670	4,911
固定負債合計	47,086	57,876
負債合計	102,553	118,666

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,454	2,454
利益剰余金	128,564	133,878
自己株式	△1,682	△1,682
株主資本合計	142,563	147,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,125	9,195
繰延ヘッジ損益	84	△36
為替換算調整勘定	△1,102	△2,830
退職給付に係る調整累計額	△908	△901
その他の包括利益累計額合計	5,199	5,426
非支配株主持分	33,566	34,756
純資産合計	181,329	188,059
負債純資産合計	283,882	306,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	212,172	206,938
売上原価	130,168	120,738
売上総利益	82,004	86,199
販売費及び一般管理費	69,167	69,012
営業利益	12,836	17,186
営業外収益		
受取配当金	585	513
その他	697	497
営業外収益合計	1,283	1,011
営業外費用		
支払利息	303	263
その他	525	366
営業外費用合計	829	630
経常利益	13,290	17,568
特別利益		
投資有価証券売却益	1,130	—
国庫補助金	—	35
その他	163	8
特別利益合計	1,294	43
特別損失		
固定資産除売却損	233	183
事業整理損	—	462
環境対策引当金繰入額	415	—
その他	139	152
特別損失合計	787	798
税金等調整前四半期純利益	13,797	16,813
法人税、住民税及び事業税	4,019	5,074
法人税等調整額	305	347
法人税等合計	4,324	5,422
四半期純利益	9,473	11,390
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,172	2,122
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,300	9,268

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	9,473	11,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	785	2,070
繰延ヘッジ損益	△13	△121
為替換算調整勘定	△3,820	△2,275
退職給付に係る調整額	△18	18
その他の包括利益合計	△3,067	△307
四半期包括利益	6,406	11,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,969	9,495
非支配株主に係る四半期包括利益	436	1,587

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	118,411	60,214	24,557	203,183	8,984	212,167	5	212,172
セグメント間の内部 売上高又は振替高	485	246	1	733	15,660	16,394	△16,394	—
計	118,897	60,461	24,558	203,917	24,644	228,562	△16,389	212,172
セグメント利益	4,983	2,313	3,879	11,176	1,716	12,892	△56	12,836

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去36百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△92百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	119,349	49,589	29,548	198,487	8,450	206,938	0	206,938
セグメント間の内部 売上高又は振替高	408	179	0	587	14,239	14,826	△14,826	—
計	119,757	49,768	29,549	199,075	22,689	221,764	△14,826	206,938
セグメント利益	6,145	637	8,791	15,574	1,520	17,094	91	17,186

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去43百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益48百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、次世代シーケンスライブラリー作製装置関連事業の整理にともない、減損損失363百万円を計上しております。なお、当該減損損失は、関連する損失と合わせて特別損失の「事業整理損」として計上しております。